

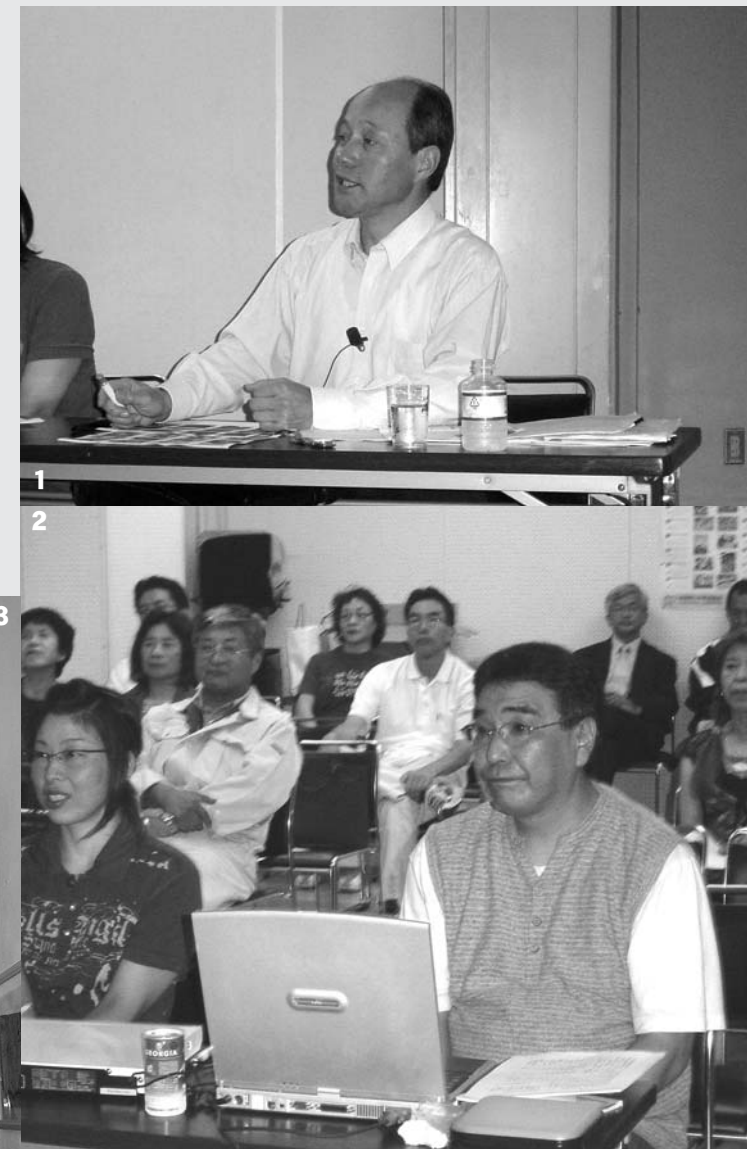
lecture of haborogy
はぼろ学講座

あなたはどれだけ
はぼろのことを知っていますか？

はぼろ学講座は「羽幌の成り立ち、自然・動植物、生活・文化を総合的に学び、羽幌町を訪れるお客様にまちを紹介出来る人材を育成すること」を目指しています

お問い合わせ

はぼろ学講座のお問い合わせは、町民課までご連絡ください。
☎ 0164-62-1211(内線105)
✉ chourin@town.haboro.hokkaido.jp



羽

幌町を訪れるお客様にまちを紹介出来る人材を育成することを目的に開催しているはぼろ学講座ですが、昨年度に引き続き今年も開催中です。

今年度から昨年の受講生を中心に実行委員会が作られ、講座内容の決定、講師への依頼、講師との事前打合せや資料づくり、会場準備、受付、司会進行などすべて実行委員会の手で行われています。
ぜひ一度参加してみてくださいいかがですか？

最北の造り酒屋物語

実行委員会の手による平成19年度の第1回目は8月6日に中央公民館研修室で開催されました。

講師に羽幌町郷土資料館管理人の菊地瞳さんを迎え、会場には30人を超える町民が熱心に聞き入りました。
講座はその昔羽幌町にあった造り酒屋「マルト本間商店」のお話

佐渡で造り酒屋を営みながら資産を持ち、北海道羽幌へ移

住し苦労しながら良水を見つけ造り酒屋を営んだ様子や、代々本間藤右衛門の名を引き継ぎ、先代が亡くなると次の代が「我家ノ記」という先代の行いを書き綴っていくことや、7代目・8代目本間藤右衛門が私財をなげうち羽幌町の基礎を築いて行った様子が写真を交えて熱っぽく講師の菊地さんから語られました。

羽幌町郷土資料館には本間家から譲り受けた200点以上の貴重な当時の品々が本間家のコーナーとして展示されています

- 1 第1回と第3回の講座で、羽幌の発展に大きく貢献した本間藤右衛門の講義を行う講師の菊地さん。
- 2 第2回の講座で羽幌炭鉱を紹介する講師の工藤さん。会場にはたくさんの方のみなさんであふれました。
- 3 羽幌町郷土資料館内にある「本間家の歴史」コーナーの入り口。中では貴重な資料が常設展示されています。



8代目本間藤右衛門(後列左から5人目)早稲田大学在学時の記念写真。大正4年撮影。前列中央には大隈重信ご夫妻の姿も。(提供:羽幌町郷土資料館)

るほか、世界的にも貴重な花の化石やアンモナイトの化石、羽幌町の産業の歴史が展示されています。

消えた楽園都市伝説

第2回目のはぼろ学講座は9月4日に中央公民館研修室で開催されました。講師に工藤俊也さんを迎えて、会場には25人の町民が集まりました。
今回はかつて隆盛を誇っていた羽幌炭鉱を貴重な写真や映像で紹介しながら、30年ほどで消えてしまった今は無き楽園都市の在りし日の姿を感慨深げに見入っていました。

本間藤右衛門のはじまり

第3回目の講座「本間藤右衛門のはじまり」は10月3日に中央公民館研修室で開催されました。

今回の講座は、羽幌町の創成期に活躍しまちづくりには大きな力を発揮した本間藤右衛門の第2弾。講師には引き続き羽幌町郷土資料館管理人の菊地さんを迎えました。

初代藤右衛門は佐渡島で苦労をして本間家を再興し造り酒屋を営みましたが、悪政と凶作の中農民を守るため一揆を指導するなど、弾圧に抵抗しながら多くの人望を集めていました。

藤右衛門は代々名前を引き継ぎ、羽幌町へ移住したのはその7代目。造り酒屋を営みながら、羽幌のまちづくりに大きく貢献しました。
講座では本間家の家系図や貴重な写真などを紹介し、いろいろなエピソードも交えながら行われました。

今回は11月15日午後7時より北海道海鳥センターを会場に「北海道屯田兵制度史」土地制度の変遷」と題した講義を、羽幌高校大山教頭を講師に迎えて開催します。

参加申込みは必要なく、参加料も無料となっています。
実行委員会では町の成り立ちや基礎を築いてくれた先人の苦労を知ってほしいと、多くの町民のみなさんの参加を呼びかけています。